

内陸地殻内地震に係る準備状況について

第1013回審査会合（2021年11月5日開催）等での指摘に対するコメント回答について、2023年11月2日に開催された事業者ヒアリングで当社より説明したところ、以下について事実確認があり、再度説明することとなりました。

- ・大間付近の隆起域を考慮した仮想的な断層の位置づけについては、地震動評価を行うこととなった経緯を踏まえた記載とし、その上で、検討用地震として評価することについて再整理すること。
- ・基本ケースの選定にあたり、地質・地質構造における審議の経緯を踏まえ、どのような考え方に基づいて設定したのか、その根拠や考え方を整理して説明すること。
- ・仮想的な断層の想定領域の外に設定する直線トレースについて、上記の整理の結果を踏まえ、その位置づけや設定について再整理すること。
- ・巨視的パラメータ、微視的パラメータ、不確かさの考慮等については、仮想断層であることを念頭に置き、その考え方について整理して記載すること。

当社では現在、仮想的な断層の位置づけに関する記載内容、ケースの選定の考え方を再整理中です。

その上で、仮想的な断層を設定する際のトレースの考え方、各種パラメータや不確かさの考慮について再検討中です。

以上をとりまとめ、2月中を目途に説明する予定です。

以 上